

ごあいさつ



平成24年度市政年報を発行するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

平成24年度は、本市にとりまして新市発足から3年目にあたるとともに、旧西方町との合併から2年目にあたる年でありました。新生栃木市のまちづくりの方向性を形作っていくための重要な1年であったのではないかと考えております。

その一端を申し上げます、多くの市民や市議会の方々のご協力の下、住民自治を目指しました本市の自治の最高規範となる「栃木市自治基本条例」を制定するとともに、10年後の目指すべき将来都市像を見据えた本市の最上位計画となる「栃木市総合計画」を策定いたしました。

自治基本条例においては、市政運営の透明化や市民参画の拡充を図るために、外部監査制度の整備並びに審議会等の設置及び運営に関するガイドラインを策定いたしました。今後同条例に基づき、主権者である市民が積極的に市政に参画できるルール作りを進めて参ります。

また、総合計画は平成25年度からの計画であります。市民生活の向上や地域間格差の解消に向けた取り組みと、地域の特性を活かしたまちづくりを市民の皆さまと協働して進めることで、「来て・観て・住んで、あったか“とちぎ”」を感じていただけるように、各分野の事業を進めて参ります。

これらの制定等により、新生「栃木市」の今後の市政発展のための礎はほぼ確立することができたものと考えておりますが、今後はその目標を達成するための具体的な施策の実施が重要になってまいります。また、平成26年4月には岩舟町との合併を控えているなど、今後も本市の将来に大きな影響を与える重要な出来事や事業が続くものと考えております。

以上申し上げましたように、この年報は、新生「栃木市」発足後の重要な時期であった平成24年度の市政運営の記録としてまとめたものでありますので、ご活用いただければ幸いと存じます。また、今後の市政運営におきましても、市議会をはじめ関係各位のご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

平成25年8月

栃木市長 鈴木俊美